

創造・誇り・愛！ 輝く七中 <sup>きら</sup>煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 渡辺 政彦

学校だより

第1号

令和2年4月9日



# とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

## 進級・ご入学おめでとうございます

校長 渡辺 政彦

前任の大神田校長に代わりまして、今年度4月に着任いたしました校長の渡辺政彦と申します。伝統ある立川第七中学校をさらに向上させ、子どもたちの可能性を十分に発揮できるそのような学校づくりに精進して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、桜の花は咲き終わってしまいましたが、樹木の新しい芽吹きも始まる中で令和2年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のいわゆる“3密”に配慮しつつも無事に入学式を終えることができました。希望や期待に胸を膨らませ172名の新入生を迎え、これで、今年度は2年生150名、3年生162名を合わせた全校で484名でのスタートになります。入学式では最初の授業ということで本校の教育目標について話しをしました。ここで式辞の一部を紹介します。

本校では中学校、三年間の学びの中で、社会で自立していくために、皆さんに身に付けてほしい力を教育目標として三つ掲げています

一つ目は「深く考え、進んで学ぶ」です。

皆さんが生きていく社会は、AIやIoTといった技術革新がさらに進み、皆さんのライフスタイルや働き方に大きな変革をもたらすといわれています。そうした変革の中で生きていくためには、学校での学びを基に自分に必要な知識・技能を自分で身に付けていかなければならないということです。そのために必要とされるのが、自分で考える力、判断する力、表現する力です。これからの中学校の授業では、人生の基本となる様々なことを学んでいきますが、ぜひ、何事にも、“どうしてこうなるんだろう”と深く考え、興味をもって取り組んでほしいと思います。

二つ目は「温かく思いやり、正しく行う」です。これは、自分も、周りの人もすべての人を大切にする気持ちをもつということです。そのためにはまず、中学校の三年間で自分自身を見つめて、自分の良さを見つけ、伸ばすことが大切です。また、同時に友達の良さも認めることも大切です。互いを尊重することで、互いに伸びていこうとする気持ちも生まれます。ぜひ、自分を大切に、友達を大切に、互いに成長できる“友”を立川七中で見つけてください

三つ目は「たくましく鍛え、自ら創る」です。毎日の中学校生活を充実させるためには、心と体の健康を維持する必要があります。心身の健康を保つためにも、規則正しい生活を身に付けることが大切です。特に「早寝・早起き・朝ご飯」と言われるように、十分に睡眠時間を確保し、しっかりと朝食をとることで脳が活性化し、考える力が活発になり、十分に運動もできるようになります。元気で明るい学校生活を送るためにも心身の健康をしっかりと考えてほしいと思います。これら三つの目標を意識して、充実した中学校生活を送ることを期待しています。

本来ならば、二・三年生の在校生とともに、新しい年度のスタートを切りたかったところですが、ぜひこれから始まる学校生活のなかで、中学生としての自覚を培い、皆さん一人一人が楽しく、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

最後になりますが、新年度が始まったとはいえ、新型コロナウイルスの影響により学校生活の再開にはまだ時間がかかり、先が見通せない状況ではありますが、こうした時だからこそ、学校と家庭との連携を密にして協力をしていくことが大切です。分からないことや心配なことがあろうかと思いますが、遠慮なく学校に相談していただければと存じます。よろしくお願いいたします。

